

J、2ステージ制に議論

Jリーグは来季から2ステージ(2S)制を10季ぶりに復活させる方針だ。チャンピオンシップ(CS)などの盛り上がりを増やし、伸び悩む集客の回復や放映権料の増収などにつなげるのが狙い。11、12日に開かれるJ1、2合同実行委員会で導入の是非が議論される。だが、反対するクラブも多く、意見がまとまらない可能性もある。

きょうから合同実行委で検討

Jリーグが2S制の復活を持ち出した背景には、強い危機感がある。J1の1試合平均入場者は2008年の1万9202人を境に下降線をたどり、今季の中断前までの平均は1万6434人。テレビの地上波で試合が中継される機会も極端に減っている。

導入派 観客減に危機感「山場増やせ」

消極派 「平日開催増えて入場者減る」

2S制を導入すれば、第1、第2Sの優勝争いに加え、年間王者を決めるCSの開催でシーズンに盛り上がるの山が増える。2S制が最後に実施された04年の横浜マーパ浦和のCSの観客は第1戦が6万4899人、第2戦は5万9715人。テレビの平均視聴率は第1戦が12・0%、第2戦

は15・3%(ともに関東地区)を記録した。「2S制に戻るのはなく、必要な新たな改革として理解を得たい」とJリーグ。すでに、各テレビ局に地上波での放送の可能性があるかなどを打診し、前向きな返事を得た。放映権料のほか、スポンサー料など具体的な試算も進めている。増収となれば、各クラブへの分配金も増える。

だが、1年を通してホーム・アンド・アウェーで争う欧州トップリーグを中心としたサッカー文化にそぐわないと、05年に2S制が解消された経緯がある。「復活させるといふ形はまずい。理論武装が必要だ」と指摘する声もある。

過密日程解消へ

05年に1S制に

1S制へ移行した05年にチェアマンだった鈴木昌さんは「過密日程解消という目的もあった。選手の体調、試合の質が落ちるのを避けたかった」と話す。CSを12月に開催するには、リーグ戦を11月中に終わらせる必要がある、Jクラブ側には、2S制復活で

平日開催が増えて、入場料収入が減るといふ懸念もある。J屈指の人気クラブの浦和は導入に消極的だ。対戦カードによっては、平日開催の場合、入場者数が2万人近く減り、約5千万円の減収になると試算する。一方で、日程に余裕を持たせようと、開幕を現在の3月上旬から2月中旬に移せば、新潟や仙台など降雪地域が本拠のクラブへの影響は深刻だ。

選手はどう感じているのか。明神(ガ大阪)は、柏にいた00年に、年間の通算勝ち点は1位なのに、いずれのステージでも優勝できずCSに出場できなかった経緯をした。「当時はそういう規則だったので、違和感がなかった。しかしチームはやっぱり年間を通して競うのが一番。見ている人も納得感があると思う」

1S制で行われた05、12年の8シーズンが、仮に2S制だったと考えると、第1、第2ともに勝ち点トータルだったのは06年の浦和だけ。08年の場合、年間5位の清水と年間7位の浦和によるCSが行われることになる。また、2S制になっても、J2降格は年間の勝ち点で決まることも、混乱を招く可能性がある。

サポーター反発

結論の先送りも

11、12日の実行委でJ40クラブから賛同を得られるのか。リーグ関係者は「票読みはできていない」と明かす。意見が割れれば、結

W杯出場を決めた泰州州夜明けた会見て、本田圭佑かな空気に釘を刺した。1W杯優勝を前提に、「それ自立した選手になって、いの力を高められるか」と課にした。

side change 潮

15日にコンプレックスにしてみよう。世界王者をめざすと言って気持ちよさ。前回W杯でベスト4を掲げて選手を駆り出すことを思えば、時間の経過

論は27日の理事会に先送りされる可能性もある。来季の開幕時期が早まれば、試合会場やキャンプ地の確保にも支障が出るため、結論を出すために与えられた時間は少ない。「起爆剤が必要なのはみんな分かっている。2S制には反対だが、代替案もない」と、あるJ1クラブの社長は話す。

サポーターにも反発がある。5月26日のJ1柏ー浦和戦の試合後には、「世界基準からかけ離れた2S制、そこに日本サッカーの未来はあるの?」という横断幕が掲げられた。鈴木元チェアマンは「Jリーグはサポーターの存在で成り立っている。もう少し時間をかけて話し合ってもいいのではないか」と指摘する。

日本代表の主力が海外に軸足を移し、Jリーグの空洞化が今後止まる気配はない。日本サッカー協会元専務理事の平田竹男・早大大学院教授は「代表の盛況ぶりだけで、日本サッカー界は安心と言えるのか。ステージ制の改革で議論を終わらせず、もっと足元を見つめ直してもらいたい」と警鐘を鳴らす。



04年の横浜マーパ浦和のチャンピオンシップ第1戦には6万4899人の観客が集まった